

聖芳園だより

特集 アートの力で元気になる Vol. 2

—表現力に触れ、その人を知る—

施設長 三木千晶

初冬の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より聖芳園の運営につきましては格別のご配慮をいただき厚く感謝申し上げます。

昨年初めから、新型コロナウイルス予防に取り組み続けてまいりましたが、ワクチン供給が概ね行き渡り、医療機関の体制等も落ち着きを取り戻してきたようです。この間、密を避けることが難しい介護場面でも、職員はできるかぎりていねいなケアサービスを提供してきました。お盆明け、在宅サービスをご利用されているお客様が陽性と診断されたものの、保健所指示のもと健康観察期間を設けましたが、拡大することなく終了しました。もしもの際は他事業所サービスを利用されているお客様、限られた人員体制で関わる小規模・複数事業所の休止、職員は出勤停止を取らざるを得ないという現状でした。私たちは基本的な対応を粛々と継続し、新しい感染症との共存を祈りながら過ごすしかないと実感しているところです。



現在、特別養護老人ホームではオンライン面会から実際に対面できる形に切り替え、デイサービスセンターではレクリエーションを元の姿に戻せるものを増やしました。地域貢献事業でも地域サロン等を再開しました。警戒ステージは過ぎましたが、お客様だけでなくご家族も長く続いた自粛生活から体力低下や疲労感を抱える方もいらっしゃるかと思います。時間はかかることでしょう。みんなで乗り越えていきたいですね。

またサービスに関わる現場への期待と責任が大きいことは再確認されましたが、心身ともに緊張を伴う毎日の業務に携わる職員にあらためてお礼を申し述べます。みなさんの業務一つ一つがお客様の生活を支える大切な源で、まさに社会の重要なライフラインです。休息を取り、気分転換していきましょう！

お客様へのサービスを充実させていくことはもちろんのこと、職員にとっても安心して長く働きやすい職場であるように今後も整えていきたいと考えています。これからも聖芳園への温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

寒さ厳しき折、みなさまのご自愛を心からお祈りしております。

～今回の聖芳園だより 特集について～

お料理・お菓子・庭や畑作りなどは掲載できませんでしたが、お客様の作品の他職員の作品も掲載します。よろしければご高覧くださいませ。

※当方は50歳過ぎに始めたハンドメイド作品を掲載していただきました。眠れる布地を眺めては、ひとりにここにこする日々です。

特別養護老人ホーム

特養では例年11月に、秋の文化・芸術鑑賞週間と題しまして、日頃から製作している作品の展示や映画鑑賞会を行ない、芸術に触れあえる機会をつくっています。

作品展示では、対面での面会が可能となり来園されたご家族にもご覧いただくことができ、映画鑑賞会では、「いつもと違う大きな画面で見るといいね」と入居者からも好評でした。



デイサービスセンター

デイサービスでは、季節に合わせてフロアに四季を感じられる飾りつけを行っています。作品はお客様が中心となって作っていただいています。

手先のリハビリにもなりお客様も真剣に取り組んでいます。



ホームヘルパーステーション



ある日、社会福祉協議会を通して、札幌日本大学中学校・高等学校ボランティア部の皆様から手作りマスクが届きました。「かわいい」「すてき」「すごいね」と事業所内に声上がり、早速使用させて頂きました。

作成していただいた生徒さん達も大変ご苦労されたと思います。

本当にありがとうございました。

居宅介護支援ステーション

コロナ禍で自粛生活が続きました。遠方に住むご家族となかなか会うことができなかつたり、近隣の集まりも縮小され外出する場所が少なくなったということもあつたのではないのでしょうか？これを機に家を片づけてみようか、昔やっていた趣味を再開してみようかなどと取り組まれた方もおられるかもしれません。リモート面会やオンライン飲み会など新しい言葉が飛び交うようになりましたが、すっかりパソコン操作が得意になった方もいらっしゃるかもしれませんね。

制限のある生活の中でも、気分転換をしたり、何かに取り組んだりして健康を維持していくことや機能低下を防止していくことは大切です。

ケアマネジャーも以前のような生活に戻ることを願いながら、皆さまの相談に乗らせていただきたいと思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

きた高齢者支援センター

コロナ禍でも楽しみながら運動して頂こうと「ウォーキングラリー」を企画しました。各場所には、スタンプを設置しておりますので押しながら、散歩してみてください。西の里地区は西の里会館・公民館、東部地区は東記念館にスタンプ帳が置いてあるので、是非チャレンジしてみてください。



特集

アートのかで元気になる Vol.2

—表現力に触れ、その人を知る—



鶴見光代様/折り紙/特養入所

表現とは、本人の過ごしてきた時間、経験、思うこと感ずることを、様々な素材を通して表し出した形であり本人の姿です。作品を通して、本人の生きる力を感じてほしいと考えました

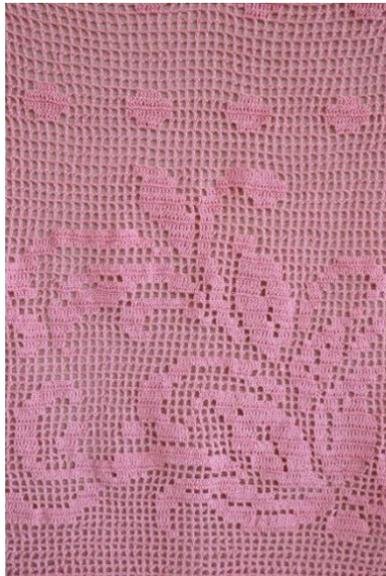
特別養護老人ホーム聖芳園に入居されているお客様、デイサービスセンターやホームヘルパーステーションなど聖芳園の在宅サービスをご利用されているお客様と職員の作品を紹介します



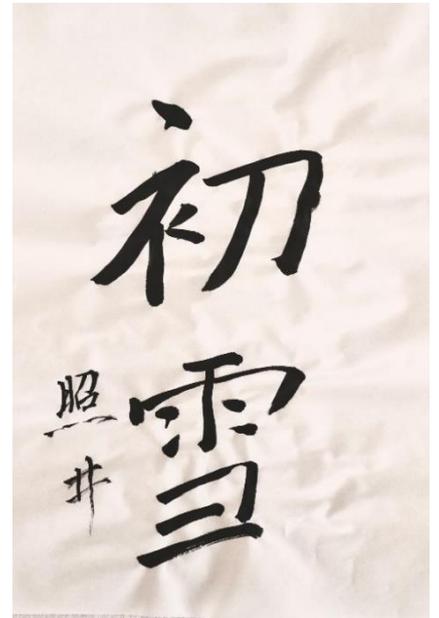
山口安子様/和紙人形/ヘルパーステーション利用



高橋通明様/絵画/デイサービスセンター利用



田中フミ子様/レース刺繍/特養入居



照井智江様/書/特養入居



長澤亜紀子/クレイフラワー/特養ケアワーカー



蠣崎晃弘様/絵画/デイサービスセンター利用



三木千晶/洋裁/聖芳園施設長



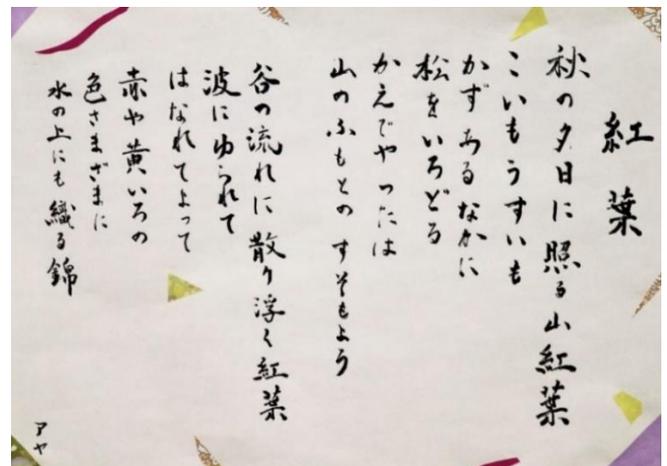
**表現は、その方の人生そのもの、
ここにもものがたりがあり、輝きがある**



野村翠子様/ちりめん細工/ヘルパーステーション利用



立石幸子様/革工芸/きた支援センター利用



塚本あや子様/書/デイサービスセンター利用



新出秀雄様/書/特養入居



伊藤操様/レース刺繍/デイサービスセンター利用



北村みゆき/ドール服作製/特養米養士



三浦信子様/折り紙/きた支援センター利用



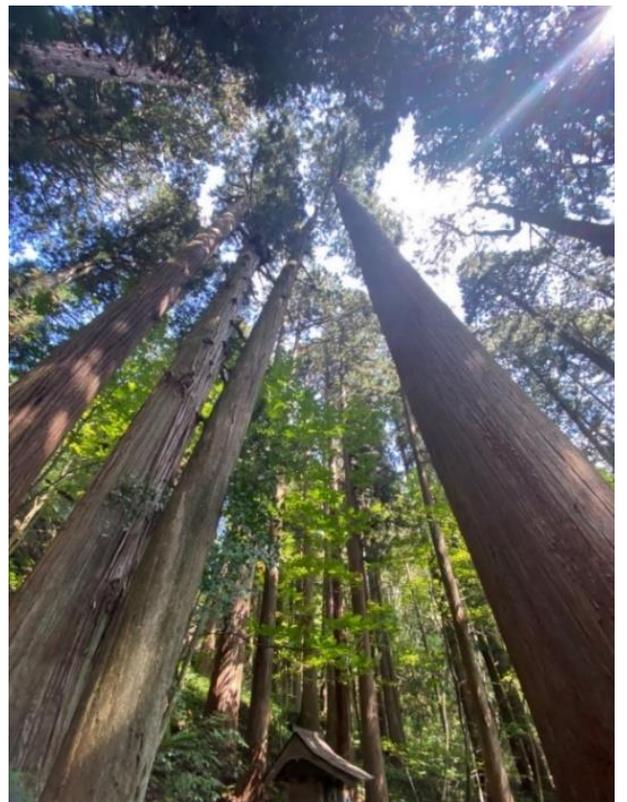
中村隆子様/和服リメイク/きた支援センター利用



高田 恵/クレイフラワー/特養ケアマネジャー



藤田順子/手芸/デイサービスセンター看護師



青木千華/写真/ホームヘルパー



伊藤シツエ様/折り紙/特養入居



八島貞子様/刺繍/ホームヘルパー利用



久保田直樹/木工/きた支援センター 社会福祉士



高橋通明様/絵画/デイサービスセンター利用



山口安子様/立体彫刻/ヘルパーステーション利用



渡邊六香様/パッチワーク/きた支援センター利用



長澤亜紀子/クレイフラワー/特養ケアワーカー



松浦長武/立体彫刻・寄木細工/居宅ケアマネジャー

**「アート」「表現活動」という概念は、美術にとどまらず
福祉の分野など、人と人との「結びつき」に深く関係するものであり、
生きる意欲を高める力です**

そこに、人生の表現者としてのけはいと、生き様があります

松浦 長武

公益事業

地域の皆様のご協力をいただきながら続けています、西の里虹サロン、おれんじカフェもコロナ禍でしばらく開催出来ていませんでしたが、安心・安全に開催できるよう準備を進めています。

今後も地域福祉事業者や地域ボランティア様と協働し気軽に集える機会を継続して参ります。

西の里 虹サロン

地域の方が気軽に参加し、集える場として地域のボランティア様と共に開催しております。近所に友達がほしい方、お茶を飲みながら気軽に話したい方、楽しく体を動かし認知症予防をしたい方など、どなたでも参加できます。また、きた高齢者支援センター（包括支援センター）と共催していますので、困りごとなどのご相談もお受けしています。

- 毎月第3土曜日 13時半から15時半
- 西の里会館 集会室
- 参加費 お茶菓子代 100円
- 行事などにより別途負担いただく事があります
- 申し込み不要 直接会場にお越しください

西の里 おれんじカフェ



認知症の方、そのご家族を中心に地域の方も参加できる場として開催しています。

- 毎月第2水曜日 13時半から15時半
- 西の里会館 集会室
- 参加費 お茶菓子代 100円
- 行事などにより別途負担いただく事があります。

※現在は、休止しています。再開の目途が立ちましたら、お知らせ致します

【編集後記】

コロナウイルスが猛威を振るい始めてから、もうすぐ2年が経とうとしています。いつまで続かわからない状況下で、生活のあり方、向き合い方も変わってきたのではないのでしょうか。時代が大きく変化する中において、楽しく生活していく為にも、人と人との繋がり、助け合いがより一層、大事になってきていると感じます。特集掲載の作品を通じ新たな関りが出来たように、今後もつながりを意識した活動を、小さくても続けていきたいと考えております。皆さんと一緒に楽しいことを見つけながら、共に歩いていきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※特集掲載にあたり作品の掲載をご了解いただきましたことに改めてお礼申し上げます。構成上、写真サイズ、掲載数など違うことに、ご了承いただけたら幸いです。

久保田直樹

特別養護老人ホーム聖芳園/ショートステイ：(011) 375-3126
聖芳園 デイサービスセンター：(011) 375-5070
聖芳園 ホームヘルプステーション：(011) 375-5080
聖芳園 居宅介護支援ステーション：(011) 375-3245
北広島市きた高齢者支援センター：(011) 375-5888
ホームページ：<http://www.seihoen.or.jp>
〒061-1102 北広島市西の里 347 番地4



【表紙作品】三浦信子様/折り紙/きた支援センター利用